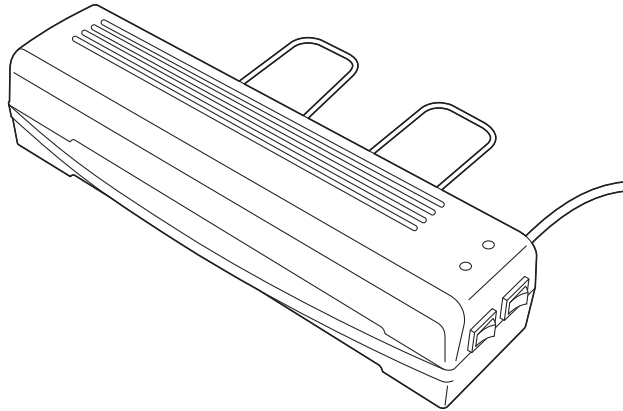


A3ラミネーター(2本ローラー) 取扱説明書



この度は、A3ラミネーター(2本ローラー)「LM-A3R2」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあとこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①ラミネーター 1台
- ②フィルム受け 1個
- ③取扱説明書・保証書(本書) 1部

※欠品や破損があった場合は、品番(LM-A3R2)と上記の番号(①～③)と名称(フィルム受けなど)をお知らせください。





本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。








サンワサプライ株式会社

使用上のご注意

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告 内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	注意 内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。
	禁止 行ってはいけない「禁止」行為の内容を示しています。
	指示 「指示」に従って行っていただく強制の内容を示しています。

警告

-  **可燃性スプレー(エアダスター等)は使用しない。**
発火して火災や火傷の恐れがあります。
-  **幼児、お子様には絶対に触れさせない。**
ケガなどの事故につながる恐れがあります。
-  **ラミネート挿入口や排出口に手や指を入れない。**
ラミネートフィルムを手で無理に押し込まない。
ケガなどの事故につながる恐れがあります。
-  **濡れた手で電源プラグにさわらない。**
感電する恐れがあります。
-  **電源コード・プラグが破損するようなことはしない。**
・電源コードの上にものを載せない。
・加工したり、傷つけたりしない。
火災や感電の原因となります。
-  **自分で分解、改造、修理をしない。**
感電やケガの原因となります。
-  **異常な状態(発煙・異臭など)のまま使用しない。**
火災や感電の原因となります。電源を切り、電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所にご相談ください。

⚠ 注意



紙・印刷物・写真以外の物を入れない。

- ・金属、ビニール製品、布、木片などをラミネートしないでください。
- ・コーティング処理された紙や油分を含むコート紙をラミネートしないでください。
- ・熱により変色、変質する紙をラミネートしないでください。



ネクタイ・髪・衣類の袖などが引き込まれないようにする。

ケガなどの事故につながる恐れがあります。



ラミネートした物を取らせるスペースがあり、水平な場所に設置する。



本製品の上に物を載せたり、腰掛けたり、乗らない。

ケガの原因となります。



調理台や加湿器の近くなど、油煙や湿気が多い場所に設置しない。

また、水をかけない。

火災や感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く。

ケーブルを引っ張ると、破損の原因となります。



使用後は電源プラグを抜く。

火災など、思わぬ事故の原因となります。



表示された電源・電圧(100V)以外で使用しない。

火災や感電の原因となります。



タコ足配線をしない。

火災や感電の原因となります。

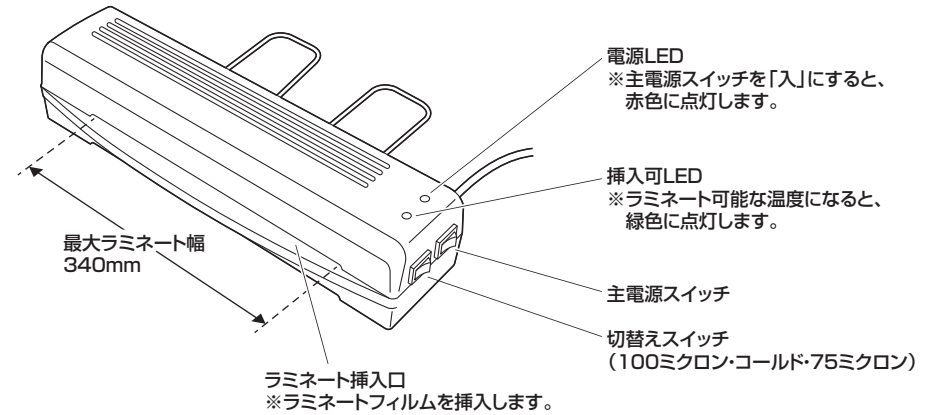


業務目的で使用しない。

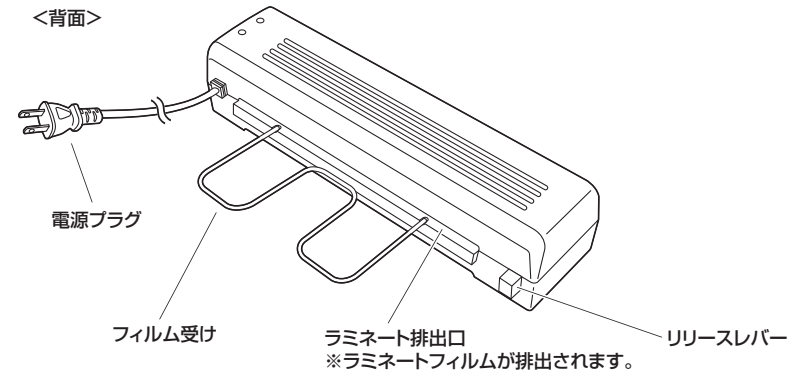
本製品は業務用の機器ではありませんので業務目的で使用しないでください。

各部の名称と働き

<前面>



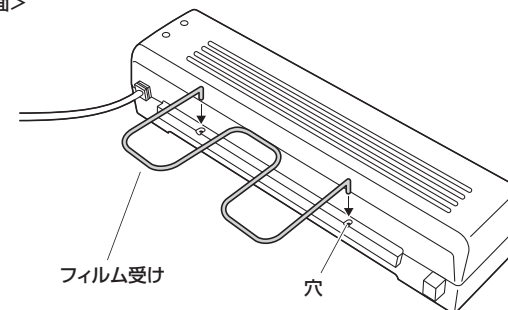
<背面>



組立方法

- ① ラミネーターの裏面に付いているフィルム受けを外します。
- ② ラミネート排出口の穴にフィルム受けを差し込みます。

<背面>



ラミネート原稿について

- 一度ラミネートした原稿は元に戻すことができません。
- 原稿の種類、厚さ、挿入方法、周囲の温度、インクの種類によって、原稿にシワや反り、インクのにじみ、気泡が入るなどの加工不良が発生する場合があります。
- フィルムを巻き込んだり、火災などの事故の原因になる恐れがありますので、以下のような物はラミネートしないでください。
 - (1)発火性の素材、熱に溶けやすい素材(塩化ビニール、ポリエチレンなど)
 - (2)一枚しかない大切な絵や写真など
 - (3)ラミネートフィルムを含めて厚さ0.4mmを超える物(写真の2枚重ねなど)
 - (4)幅340mmを超える物
 - (5)熱で変色、変質する物(感熱紙やクレヨンで書いた絵など)
 - (6)片面のみのラミネート
 - (7)ラミネートフィルムだけのラミネート
 - (8)ラミネートフィルムの継ぎ足しや変形カットしたラミネートフィルムでの加工
 - (9)クレジットカードなどの磁気カード
 - (10)折れ曲がっている物、湾曲している物
 - (11)押し花(台紙を使用していないもの、台紙・ラミネートフィルムを含めて厚さ0.4mmを超える物)
 - (12)金属、布、木片など、紙以外の素材
 - (13)コーティングされた紙やエンボス加工、油分を含むような特殊な印刷物
 - (14)インクジェットプリンターで印刷した直後の湿った紙(水分を含んだ印刷物)

- コールド・ホット両方のラミネート作業を行う場合は、先にコールドラミネートを行い、その後でホットラミネートを行ってください。
- ホットラミネートの後、コールドラミネートを行う場合は電源スイッチを切った後、ラミネーターの熱を完全に冷ましてからにしてください。直後は適切な内部温度になるまで30～60分かかります。

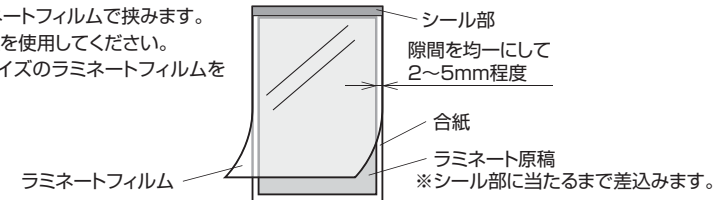
使用方法

■コールドラミネートの準備

- ①電源プラグをコンセントに接続します。
- ②切替えスイッチでコールドラミネートに設定します。
- ③主電源スイッチを入にします。電源LEDが赤色に点灯します。
※モーターが回ります。
- ④挿入可LEDが緑色に点灯したら準備完了です。
※時間は季節、室温によって変わります。

■コールドラミネートの加工方法

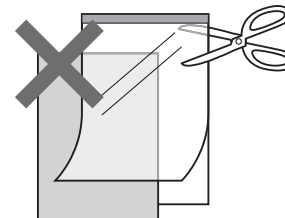
- ①ラミネート原稿を図のようにラミネートフィルムで挟みます。
※コールドラミネート専用のフィルムを使用してください。
※ラミネート原稿に対して適切なサイズのラミネートフィルムを使用してください。



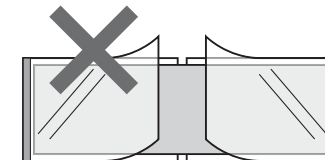
⚠ 注意

以下の方法は絶対にしないでください。

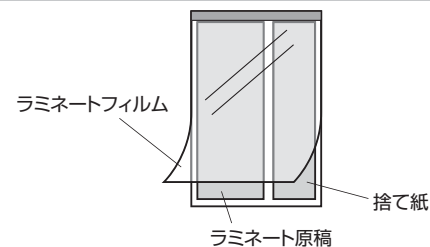
加工前のラミネートフィルムをカット



ラミネートフィルムの継ぎ足し

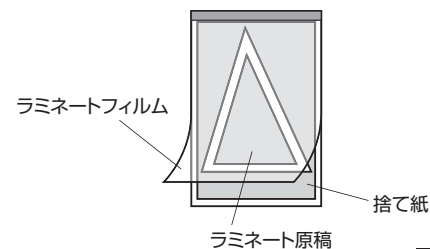


ラミネートフィルムのサイズが合わない場合



- ラミネートフィルムはラミネート原稿より2～5mm大きいサイズが最適です。適切な大きさのラミネートフィルムがない場合は、大きめのサイズのフィルムを使用し、余分な場所に捨て紙を入れます。

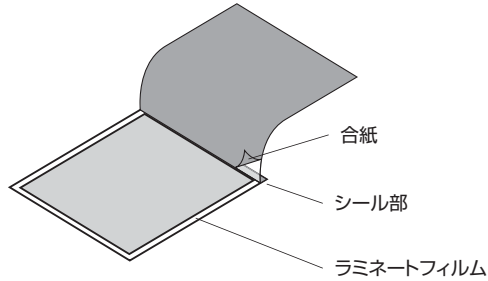
丸や三角形などの異形の原稿をラミネートする場合



- 大きめのサイズのフィルムを使用し、余分な場所に捨て紙を入れます。

使用方法(続き)

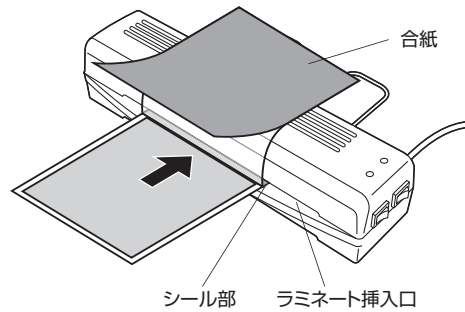
- ②ラミネートフィルムのシール部側から合紙を少しだけはがします。



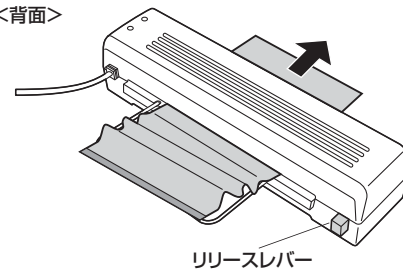
- ③ラミネート挿入口の中央に、ラミネートフィルムのシール部の方から先にまっすぐ挿入します。

※合紙は手で支えていると、自然にはがれて行きます。

<前面>



<背面>

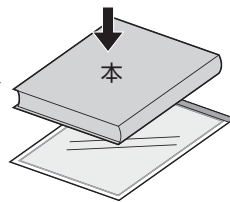


❗ ラミネートフィルムが詰まった場合はリリースレバーを押しながらラミネートフィルムを引き出してください。

- ④加工した物が完全に排出されてから取出します。

❗ 一度ラミネートしたものはラミネートフィルムをはがしても再利用できません。

※取出し後、本などの重しを載せておくと、よりきれいに仕上がります。



- ⑤連続使用時は前の物のラミネートが完全に終わり、排出されてから行います。
※厚い原稿(写真やはがき)を挟んでラミネートする場合は前のラミネートが終わってから10秒程度間隔を開けてください。

- ⑥ラミネートが終わったら、主電源スイッチを「切」にして電源を切ります。

- ⑦必要に応じて、ラミネートフィルムの余分な部分を切り取って完成です。

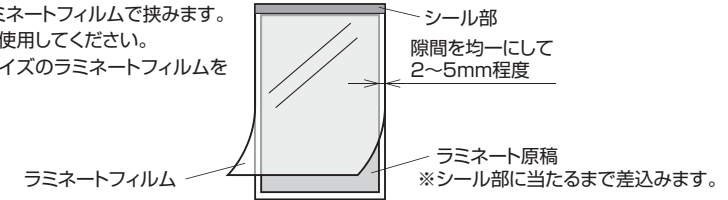
使用方法(続き)

■ホットラミネートの準備

- ①電源プラグをコンセントに接続します。
- ②切替えスイッチでフィルムの厚さ(75ミクロン・100ミクロン)を設定します。
- ③主電源スイッチを入にします。電源LEDが赤色に点灯し、準備中の状態になります。
※モーターが回り、ヒーターがローラーを温めています。
- ④約3～5分後、挿入可LEDが緑色に点灯したら準備完了です。
※時間は季節、室温によって変わります。

■ホットラミネートの加工方法

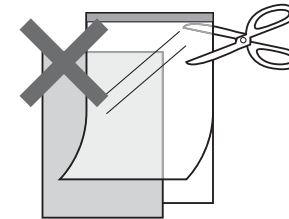
- ①ラミネート原稿を下記のようにラミネートフィルムで挟みます。
※ホットラミネート専用のフィルムを使用してください。
※ラミネート原稿に対して適切なサイズのラミネートフィルムを使用してください。



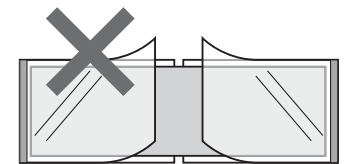
⚠ 注意

以下の方法は絶対にしないでください。

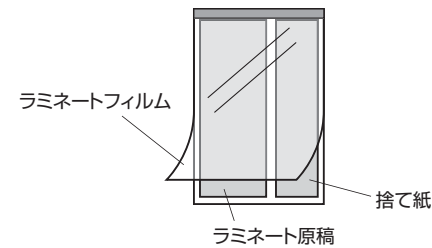
加工前のラミネートフィルムをカット



ラミネートフィルムの継ぎ足し

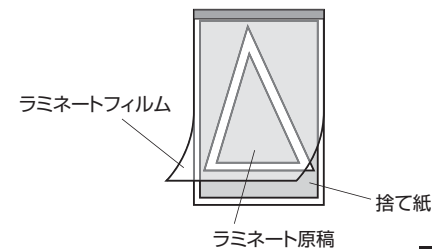


ラミネートフィルムのサイズが合わない場合



❗ ラミネートフィルムはラミネート原稿より2～5mm大きいサイズが最適です。適切な大きさのラミネートフィルムがない場合は、大きめのサイズのフィルムを使用し、余分な場所に捨て紙を入れます。

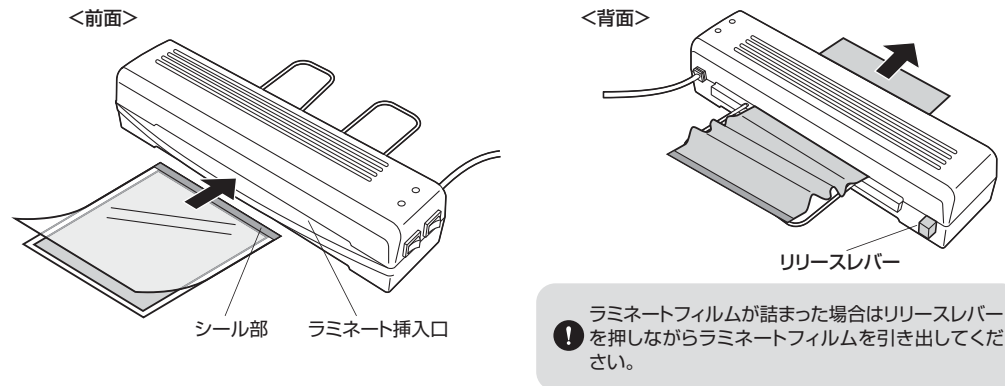
丸や三角形などの異形の原稿をラミネートする場合



❗ 大きめのサイズのフィルムを使用し、余分な場所に捨て紙を入れます。

使用方法(続き)

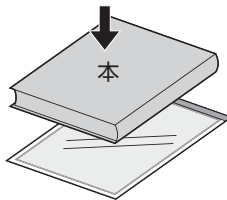
- ② ラミネート挿入口の中央に、ラミネートフィルムのシール部の方から先にまっすぐ挿入します。



- ③ 加工した物が完全に排出されてから取出します。

- 加工直後のラミネートフィルムは熱くなっているので、やけどに注意して取出してください。
- 加工直後のラミネートフィルムは余熱で変形しやすくなっていますので、ラミネート排出口からすぐに取出し、平らな場所に置いて冷やしてください。また、完全に冷えるまで無理な力を加えないでください。
- 一度ラミネートしたものはラミネートフィルムをはがしても再利用できません。
- ラミネートの仕上がりが白く曇っている場合はローラーの温度が低い可能性があります。電源を入れたままさらに60秒程度経ってからラミネートしてください。

※取出し後、本などの重しを載せておくと、よりきれいに仕上がります。



- ④ 連続使用時は前の物のラミネートが完全に終わり、排出されてから行います。
※厚い原稿(写真やはがき)を挟んでラミネートする場合は前のラミネートが終わってから10秒程度間隔を開けてください。
※長時間連続して使用する場合は、1時間使用することに電源を切り、30分以上本体を冷ましてから再度ご使用ください。
- ⑤ ラミネートが終わったら、主電源スイッチを「切」にして電源を切ります。
- ⑥ 必要に応じて、ラミネートフィルムの余分な部分を切り取って完成です。

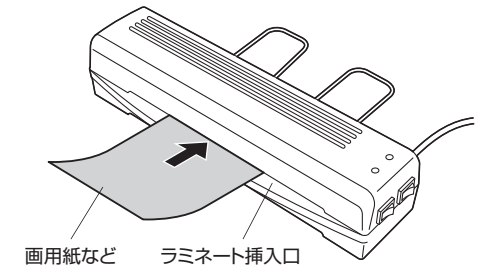
お手入れについて

本製品はラミネート加工することにより、ラミネートフィルムの接着剤が内部のローラーに少しずつ付着し、汚れていきます。毎回ラミネート作業終了後は電源を切る前に、ローラーをクリーニングしてください。

- ※ローラーに付いた接着剤の汚れが多くなると、ラミネートフィルムを巻き込み、きれいに加工できなくなります。
- ※ローラーに付いた接着剤の汚れを長期間そのままにしておくと、取りにくくなりますので、こまめにクリーニングしてください。

■ローラーのクリーニング方法

- ① 本製品を使用後、電源を入れたままにしておきます。
 - ② 挿入可LEDが緑色に点灯している状態で、画用紙くらいの厚さの白い紙を用意し、それを数回通します。紙に汚れが吸着し、ローラーがクリーニングされます。
- ※コピー用紙などの薄手の用紙を使用すると、巻き込んで詰まる可能性があります。巻き込んで詰まった場合は主電源スイッチを「切」の位置にして、本体背面のリリースレバーを押しながら詰まった用紙を引き出してください。



■本体外側のクリーニング方法

- ① 電源を切りコンセントから電源プラグを抜き、本体を冷まします。
 - ② 水で薄めた中性洗剤を布に付け、よくしぼってから汚れを拭き取ります。
- ※スプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー、みがき粉などは絶対に使用しないでください。

故障かな?と思ったら

Q 電源スイッチを入れても動かない。

A 電源プラグが正しく接続されているかどうかご確認ください。

Q ラミネートフィルムが詰まった。

A リリースレバーを押してラミネートフィルムを引っ張って取り除いてください。

Q ラミネートフィルムが入っていかない。

A 加工する物の厚さが0.4mmを超えていないか確認してください。本製品が加工できるのは、原稿・ラミネートフィルム・カバーを合わせて0.4mmまでです。

Q 加工後のラミネートが白っぽい。

A 挿入可LEDが緑色に点灯してからラミネートしているか確認してください。

加工温度が低い可能性がありますので、温度が安定するまで60秒程度経ってから使用してください。

Q ラミネートフィルムが波打つ、変形して加工される。

A ラミネートフィルムの余白は2~5mmになっているか確認してください。

また、使用環境の温度が高すぎないか確認してください。

上記に問題がなければコピー用紙などでラミネートフィルムを挟み込んでカバーし、加工してみてください。

Q 挿入可LEDが緑色に点灯しない。

A ウォームアップ中の可能性があります。ラミネート可能になるまでの時間は周囲の環境によって異なります。しばらくお待ちください。

仕様

サイズ	W421×D103×H75mm
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	400W
ウォームアップ時間	約3~5分
ラミネート方法	ホットラミネート・コールドラミネート
ローラー本数	2本
最大ラミネート幅	A3 340mm
対応ラミネートフィルム厚	75ミクロン・100ミクロン
ラミネート速度	約260mm/分

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売・オークション・転売転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じて弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

サンワサプライ株式会社

保証書		型番 LM-A3R2	
シリアルナンバー			
お客様	お名前		
	ご住所	〒	
		TEL	
販売店	販売店名・住所・TEL		
	担当者名		
保証期間	6ヶ月	お買い上げ年月日	年 月 日

最新の情報はWEBサイトで <https://www.sanwa.co.jp/>



本製品の詳細情報はこちら!

スマホでQRコードを読み込むだけで簡単にアクセス!



弊社サポートページはこちら!

■サポート情報 ■Q&A(よくある質問)
■ソフトダウンロード ■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 バストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-718-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37TM仙台ビル TEL.022-257-4838 FAX.022-257-4833
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 セントラル新大阪ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CA/AD/TTDaC